

柳田國男没後50年記念企画展

# 民俗の宝庫

## 〈三遠南信〉の

# 発見と発信

— 柳田國男・折口信夫らによる調査研究のあゆみ —

### ◆ 附属事業

講演会 1 9月23日(日) 午後1時30分～3時30分

「柳田國男・折口信夫と三遠南信の民俗」

小川直之氏 國學院大學折口博士記念古代研究所教授

講演会 2 10月14日(日) 午後1時30分～3時30分

「三遠信國境地帯の民俗—その歴史的背景と特質」

福田アジオ氏 国立歴史民俗博物館名誉教授  
柳田國男記念伊那民俗学研究所長

講演会 3 10月28日(日) 午後1時30分～3時30分

「三遠南信の祭り・芸能の発見」

櫻井弘人 (本誌学芸員)

シンポジウム 10月14日(日) 午前10時～12時

「三遠南信の民俗とその調査研究」

伊藤正英氏 (三河民俗談話会)

名倉慎一郎氏 (遠州常民文化談話会)

櫻井弘人 (本誌学芸員)

記録映像上映・解説会

9月16日(日) 午後1時30分～3時30分

・ 濹澤敬三作品「中馬」「三河地方旅行」「花祭り」ほか

プラネタリウムオリジナル番組特別上映

土・日・祝日 ①午前11時5分～15分 ②午後3時35分～45分

「人形劇のまち飯田」①

「遠山霜月祭く太陽と命のよみがえり」②

その他 展示解説会・協賛事業

展示解説会や柳田國男記念伊那民俗学研究所等

による協賛事業が開催されます。美博HP・新聞等で広報します。

平成24年  
9月15日(土)～10月28日(日)



花祭の神鬼 昭和47年(一九七二) 芳賀日出男氏撮影



天龍村坂部の集落 昭和7年(1932)1月撮影 下伊那教育会(市村成人文庫)



柳田國男没後50年記念企画展

# 民俗の宝庫〈三遠南信〉の発見と発信

— 柳田國男・折口信夫らによる調査研究のあゆみ —

三遠南信とは、豊橋市を中心とする愛知県の東三河地方、浜松市を中心とする静岡県遠州地方、飯田市を中心とする長野県の飯伊地方、奥境を跨いだりである。この地域は、特に三県が奥境を接する天龍川水系の山間地、いわゆる「三信遠国境地帯」を中心として、雪祭り・田楽などのオコナイ、花祭り・冬祭り・霜月祭りなどの霜月神楽、盆行事など古層の民俗文化が息づき、「民俗の宝庫」と称されている。

この地の民俗文化は、柳田國男・折口信夫をはじめ幾多の民俗学者によって早くから注目され、現地調査がくり返され、広く紹介されてきた。そして、柳田の『信州随筆』や、折口による「まれびと論」などの新たな学説、早川孝太郎の『花祭』、澁澤敬三らによる映像記録や民具研究など、民俗学史上きわめて重要な成果を生み出した。

一方、地域内でも、自らが民俗文化の大切さにいち早く気づき、それを明らかにし伝え残そうとした者たちがいた。中央の研究者を温かく迎え入れて交流し、仲間と共に自らも調査や研究を重ね、書物や雑誌を編んで発表してきた。その伝統は今も脈々と受け継がれている。本展覧会では、地域の内外に残る資料を数多く発掘し、三遠信地方の民俗研究史をたどることで、その民俗文化の特質をあぶり出すとともに、その将来に向けての可能性についても考える端緒としたい。



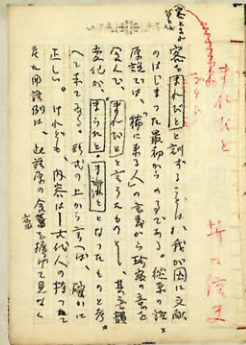
柳田國男 濱谷浩撮影



柳田を囲む「話を聞く会」飯田・蕪橋にて  
昭和10年（一九三五）10月23日



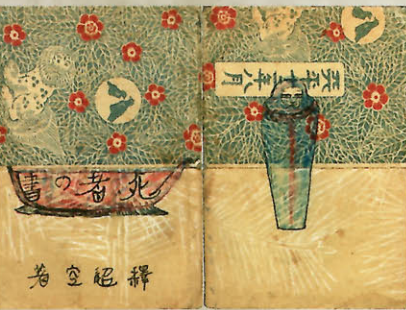
『花祭』早川孝太郎著（柳田國男への贈呈本）  
昭和5年（一九三〇） 成城大学民俗学研究所蔵



折口信夫原稿「まれびと」  
（古代研究 国文学篇掲載）  
大正13年（一九二四）頃  
國學院大學折口博士記念古代研究所蔵



柳田國男原稿「日本の民俗学」  
大正14年（一九二五）4月 本館蔵



●特別出品  
折口信夫『死者の書』初出誌自装本  
昭和14年（一九三九）  
國學院大學折口博士記念古代研究所蔵



『花祭』早川孝太郎画  
昭和3年（一九二八）頃  
神奈川大学日本常民文化研究所蔵



坂部諏訪社参拝記念奉納札 澁澤敬三筆  
昭和8年（一九三三）1月4日  
天龍村坂部大森山諏訪社蔵

平成24年9月15日（土）～10月28日（日）

観覧料●大人310円(250円) 高校生200円(150円) 小中学生100円(80円)

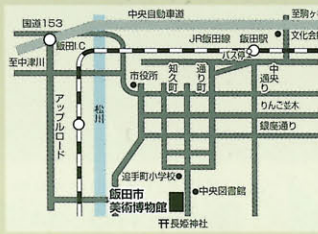
\*（ ）は20人以上の団体料金

観覧時間●午前9時30分～午後5時（入館4時30分まで）

主催●飯田市美術博物館・柳田國男館

後援●三遠南信地域連携ビジョン推進会議、南信州広域連合、長野県下伊那地方事務所、中日新聞社、静岡新聞社、静岡放送、信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、毎日新聞長野支局、読売新聞長野支局、南信州新聞社、信州日報、長野日報社

協賛●柳田國男記念伊那民俗学研究所、伊那史学会



iida city museum  
飯田市美術博物館

交通：JR飯田駅・高速バス飯田駅前から徒歩20分  
中央道飯田I.C.から車15分

